

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区
まちづくり協議会

発行責任者
林 堅太郎

編集責任者
村澤 真保呂

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

学区コミュニティ基金配分へ

31年度通常総会で議案提出予定

学区自治連合会（野々口義信会長）は、長年の懸案だった学区コミュニティ基金の取り扱いについて、各自治会に配分する案をまとめ11月中旬、配分予定に至った経過、理由などを示した資料を自治会加盟世帯に配布した。学区自治連合会は、1月中旬にこのコミュニティ基金の取り扱いについての住民説明会を開催したのち、4月開会の31年度学区自治連合会通常総会に議案の提出を予定している。

コミュニティ基金は、昭和59年に公共下水道が整備され、役目を終えた日吉台単独の集中下水処

理施設の運営費残金。施設管理者の日本地所から学区自治連が引き継いだ。この資金を金融機関など

に預け、運用益を果実に、自治会振興に役立ててきた。30年度の残高は約3490万円となっている。

もともと下水道整備の運営費は、整備以前に住む入居者が、各世帯10万円を支払ったものが原資。

日吉台学区コミュニティ基金各丁配分案

(金額単位：千円)				
	各自治会均等配分	世帯数比例配分*1	各自治会計	分配率
自治会分配	一丁目南	2,000	1,200	3,200 9.2%
	一丁目北	2,000	1,710	3,710 10.7%
	二丁目南	2,000	1,100	3,100 8.9%
	二丁目北	2,000	1,710	3,710 10.7%
	三丁目東	2,000	1,850	3,850 11.1%
	三丁目西	2,000	1,600	3,600 10.3%
	四丁目東	2,000	1,280	3,280 9.4%
	四丁目西	2,000	1,450	3,450 9.9%
小計			16,000 11,900	27,900 80.1%
自治連合会 管理			6,923	19.9%
合計*2			34,823	100.0%

*1：自治会加入世帯数（平成30年4月1日現在）

*2：平成30年度分の予備費等を見込んだ金額で、差額が出た場合は自治連管理分を増減

朝来市のまちづくり 視察研修

学区まち協の役員ら



朝来市と布土地域自治協議会で、まちづくりを視察研修する学区まち協の役員ら

学区まちづくり協議会（林堅太郎会長）は11月15日、従来の自治会組織から脱皮、自分たちのまちづくりを行動展開していく組織づくりを展開している兵庫朝来市を訪ね、視察研修を行なった。まちづくりの先端地域の状況や課題を知り、今後の日吉台のまちづくりに活かすことが目的。今回の現地視察には、



まち協の林会長、村澤真保呂事務局長、野々口義信学区自治連合会長ら6人が参加。最初に朝来市役所総合政策課を訪ね、市のまちづくり政策の概要と地域自治改革について話を聞いた。その後、同市の自治連、自治会組織に代わるまちづくり団体の11地域自治協議会のひとつ、「与布土地域自治協議会」を訪ね、地域自治とまちづくりの現状を視察し意見交換。日吉台学区側から従来あった自治組織との関係、運営組織の違い、メリット、デメリットなどさまざまな角度から質問、朝来市が行う自立のまちづくりの取り組みを聞いた。

困ります！そのオシッコ！！

マナーを守りましょう！

犬のトイレは適切な場所で！

※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意（ビニール袋、水入りペットボトル）をしましょう。

大津市動物愛護センター

人口減少・高齢化に30年前から直面してきた朝来市は、10年前から大胆な地域自治改革に取り組み、移住者増などの成果をあげていることで、近年全国から注目を浴びている。大津市も市民センター機能のあり方検討では、朝来市をモデルの一つに新たな住民主体の組織づくりを目指している。

当日はモンゴル、ウガンダでの活動エピソード、子どもたちの様子、現状など写真を交え講演してもらったことになっている。

算した。残余の資金については、学区自治連合会が管理、学区自治連として学区全体の活性化策に役立てる。また、全戸配布資料には、この配分表のほか、配分に至った主な理由、決定への経過などを記述した。5月のコミュニティ基金管理委員会の協議を重ねたうえに学区自治連合会に答申案として提示した。答申を受け学区自治連合会は、各丁に対し協議と可否判断を要請。各丁から10月までに「答申案を了承する」との回答があり、今回の自治連合会提案の運びとなった。

配分案については、別表のとおり。配分額は、各丁へ均等に200万円を分配したうえ、各丁加盟自治会世帯数に1万円を乗じた額を比例配分加

日吉ブロック人推協「秋の集会」

12月8日、日吉台小で開催

日吉ブロック「人権・生涯」学習推進協議会連合会主催の第50回人権を考える大津市民のつどい日吉ブロック「秋の集会」が12月8日、午前9時20分、日吉台小学校で開催

される。日吉人推協連は、坂本下阪本、日吉台、雄琴4学区の人推協で構成、秋の集会は4学区が輪番制で実施、今年度は日吉台が当番学区にあたる。

集会は、4分科会に分かれ開催。それぞれ講演、活動報告、意見交流が行なわれる。第1分科会は3階音楽室で、4東在住の林賢三さんが「インクルーシブ（共生）社会について考える」をテーマ

に講演▽第2分科会は体育館で滋賀県人権センターの井上尚世さんの講演「インターネットと人権」▽第3分科会は2階図工室で、市社会福祉協議会による活動事例報告「様々な視点から安心・安全な暮らしを考える」▽第4分科会は3階集会室で安養寺フリースクール恒河沙（こうがしや）理事長の講演「ひきこもりにかかわり共に生きる」。

第1分科会の林賢三さんは、京都市北総合支援学校校長、JICA海外ボランティアなどを歴任。長年障害のある子どもの教育にかかわり現在もJICAボランティア応援団事務局長をしている。当日はモンゴル、ウガンダでの活動エピソード、子どもたちの様子、現状など写真を交え講演してもらったことになっている。

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください！

- ・ 帰宅時も明るくて安心
- ・ 泥棒に狙われにくい街づくり

電気代は、LED電球（40W電球相当）の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

日吉台学区

土砂災害警戒区域に3ヵ所追加指定へ

県大津土木事務所発表

県大津土木事務所は、土砂災害防止法に基づき、市内で土砂災害の恐れのある地域を調べていたが、その調査結果がまとまり公表した。調査によると日吉台学区では、3ヵ所を追加指定することになっている。

土砂災害警戒区域は、傾斜度が30度以上で高さが5メートル以上の区域▽急傾斜地の上部から水平距離が10メートル以内の区域▽急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍以内の区域など急傾斜地の崩壊する恐れがある住宅が存在する地域。

今回の調査は平成29年秋に航空レーザー調査と現地調査で実施。日吉台3丁目北側区域1210平方メートル、該当戸数4戸▽千野3丁目と日吉台4丁目にまたがる297平方メートル、該当戸数2戸▽日吉台4丁目と千野3丁目にまたがる1825平方メートル、該当戸数5戸の3区域が急傾斜地の崩壊する恐れがある警戒区域に該当した。

土砂災害防止法では、この警戒区域のほかに建築物に損害が生じ住民に著しい危害の恐れのある土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）がある。レッドゾーンになると住宅建築や開発行為に規制がかかるが今回のイエローゾーンにはその規制はない。学区内では、これまで坂本学区にまたがる区域を含め6カ所が土砂災害警戒区域に指定されており、今回指定されると同警戒区域は全部で9カ所となる。県では、イエローゾーンでは、「建築規制などはないが、土砂災害についてはいままで以上に注意、警戒を強めて欲しい」と呼びかけている。

ドゾーンになると住宅建築や開発行為に規制がかかるが今回のイエローゾーンにはその規制はない。学区内では、これまで坂本学区にまたがる区域を含め6カ所が土砂災害警戒区域に指定されており、今回指定されると同警戒区域は全部で9カ所となる。県では、イエローゾーンでは、「建築規制などはないが、土砂災害についてはいままで以上に注意、警戒を強めて欲しい」と呼びかけている。

災害本番に備え防災訓練



日吉台小学校で実施される学区防災訓練

巨大地震に備え、11月11日、日吉台小学校で、学区住民約350人が参加して学区防災訓練が行われた。災害時における住民の安全確認と安全な場所への避難誘導を図るのを狙いに実施した。

午前8時半、各丁で安全確認や担架搬送など独自の訓練を開始。8丁住民らは、各丁が指定した公園など安全な場所に避難、地域の防災担当者が安全確認、トランシーバーで本部に報告したあと、

住民らを学区自主防災訓練会場の日吉台小へ誘導した。訓練の主会場の日吉台小では、避難してきた参加者らが体育館に集合。高村克彦・自主防災会会長が「地球温暖化の影響もあつて巨大地震のほか住民に危害の恐れのある災害にも気をくばる必要がある。訓練を通じ日ごろから十分な備えが必要」と開会のあいさつで訴え、3班に分かれ消火器体験訓練、AEDを使った救命救急訓練、倒壊家屋救助訓練に参加した。訓練後、市中消防西分署の玉井正巳署長が「子どもたちにも防災に関心を持ってもらうよう家庭などで話し合つて欲しい」と講評した。

学区青少年育成学区民会議
写真コンクールでシルバー賞

功労者表彰で角田会長受賞



受賞した「かるた大会」の写真



表彰された角田豊会長

大津市青少年育成市民会議（松山典弘会長）が設立50周年記念事業で行なった「青少年ほのぼののいきいき写真コンクール」で、日吉台学区青少年

この写真コンクールには、同市民会議50周年記念事業のひとつ。関係57団体から応募があり、審査の結果、優秀作品に選ばれ10月27日、市生涯学習センターホールで開催された50周年記念「大津市青少年育成市民のつどい」で表彰された。また、この「市民のつどい」では、育成市民会議の運営や青少年の健全育成活動などに貢献のあった人の50周年記念表彰も行なわれ、15年にわたつて活動に尽力したとして日吉台学区青少年育成学区民会議の角田豊会長が表彰された。

クリスマスコンサート

日吉台合唱団

日吉台合唱団恒例の日吉台合唱団クリスマスコンサートが12月15日、日吉市民センター大会議室で開かれる。



コンサートは、午後1時半開場、午後2時開演。入場無料。曾田俊和さん、西谷真理子さん指揮、鈴木淳子さんのピアノ演奏で「金子みすゞさんの詩による6つの女声合唱曲」、「私と小鳥と鈴と」映画音楽より「メモリー」 「雨に唄えば」などがある。

お知らせ

空き家対策、空き家などの情報の問い合わせは、学区空き家対策委員会の濱崎博事務局長（090・5053・5455）まで

日吉台学区自治連合会
同空き家対策委員会